

福島市長 木幡 浩 様

要 望 書

令和6年5月23日

平石地区住民

私たち平石地区住民は、平石字原高屋地内での太陽光発電事業計画につきまして以下の観点から反対の立場であり、住民の皆さんの署名を添えて計画の中止を要望します。

私たち平石地区住民は、大規模な太陽光発電施設が、住宅地に近接する遊休農地や水源かん養機能を持つ山林に設置されることにより、周辺環境との不調和や、生態系や河川への影響を懸念します。

これまでも、複数の事業者から地区の共有林などに対する太陽光発電事業の開発等に関する協議が繰り返され、その都度拒否してきた経過があります。

大規模な太陽光発電事業が計画されている平石字原高屋地内の場所は、急傾斜地であり過去に2度の土砂崩れがあった危険な区域です。

地区としては、この事業予定地の一帯が開発に伴って、大雨や局地的な豪雨の際に傾斜地が崩れる土砂災害や、周辺の水路や石那坂川、そして濁川へと流れ込む水量の増加に大きな影響が発生して、流域の冠水、浸水被害が拡大する危険が高まることを危惧しています。

傾斜地や土地の形質が変更された場所への大規模な太陽光発電施設の設置は、土砂災害に対する危険性が高まります。

事業終了後の施設の撤去に至るまで、将来にわたり様々な問題が発生する可能性を否定できません。

事業者が責任をもって、異常気象や地震などの影響による災害を確実に想定した対策を講じながら、将来にわたり地域住民の安全を確保できるとは限りません。

地区としては、この事業計画に反対であり、事業者からの協議についても応じる考えはありません。

福島市に対して、平石字原高屋地内における太陽光発電事業計画について、地域住民の生命及び財産の安全確保のため、事業者に事業計画の中止を求めることを強く要望します。

福島市長 木幡 浩 様

令和6年5月23日

平石地区住民代表 佐久間 誠